

(広報資料)

平成22年5月6日

都市計画局

担当 都市企画部都市総務課

TEL 222-3671

「ゼスト御池経営改革プラン」の策定について

京都御池地下街株式会社については、これまでから財務状況の改善に向けた取組を進めていますが、平成20年6月30日付け総務省通知「第三セクター等の改革について」において、「地方公共団体が損失補償等の財政援助を行っており、その損失補償付債務の元利償還費に対して補助及び貸付けを行っている第三セクター」については、地方公共団体が「経営改革プラン」を策定することとされました。

京都市では、これを受け、京都御池地下街株式会社の経営改革に関する方針を定めた「ゼスト御池経営改革プラン」を別添のとおり策定しましたので、お知らせします。

今後は、このプランを基に、経営健全化に向けた取組を具体化し、自立した経営と市民の財産としての「ゼスト御池」の発展を目指します。

1 経営改革プランの概要

(1) 事業の概要と京都御池地下街株式会社の現状

- ・ ゼスト御池は、京都の都心部における憩いと賑わいを生み出すために、「地下街」「地下駐車場」「公共地下道」が一体的に整備された施設である。
(総事業費約280億円)
- ・ 平成15年度以降、6期連続で黒字を確保しているものの、10億円を超える累積赤字がある。

(2) 経営健全化実施前の今後の経営見通し

- ・ 京都市からの貸付金の完済は平成54年度、累積赤字の解消は平成70年度と見込まれる。
- ・ 平成35年度から平成39年度まで運転資金に不足が生じるなど、収支の一時的な悪化が見込まれる。

(3) 経営健全化に向けた取組

ア 計画期間

平成22年度から平成31年度までの10年間

イ 目標

- ・ 地下街のリニューアルを実施し、年間のテナント収入を10%増加させる。
- ・ 運転資金を安定的に確保するとともに、累積赤字を早期に解消する。

ウ 当面の取組

駅ナカビジネスとの連携による地下街の認知度・回遊性を高めるための取組、観光地交通対策との連携強化による駐車場の利用促進の取組等を実施する。

エ テナント売上げの10%増を目指した取組

- ・ リニューアルの内容を定める基本構想を平成26年度に策定する。
- ・ リニューアルは、開業20周年となる平成28年度の実施を想定しているが、最も効果的となる時期を見極めて実施する。

オ 健全化策実施後の収支見通し

- ・ 運転資金の不足は生じない。
- ・ 京都市からの貸付金は3年前倒しの平成51年度に完済し、累積赤字は16年前倒しの平成54年度に解消するものと見込まれる。

2 市民への情報開示

本日（5月6日）、都市総務課ホームページに掲載。